

平成28年度 諏訪哲学会 夏期研修報告

諏訪哲学会

会長 岩波 均

1 実施日時 7月30日(土) 午前9:00 ~ 12:00

2 場 所 法華寺(諏訪市大字中洲神宮寺856)

3 参加者 教育会会員 9名 一般2名 計11名

座禅

法話の拝聴

読み合わせ会

『宗教と非宗教の間』(岩波文庫) 西谷啓治著

「禅の世界と東洋人」

レポート発表者 黒澤 豊文先生(玉川小学校)

小林 貴徳先生(玉川小学校)



4 参加者の声

諏訪哲学会の仲間に入れさせていただき6年が経つ。普段の生活では読めない哲学や宗教に関する本に触れる希少な時間である。また、家庭や職場以外での自由なコミュニケーションがとれる場所である。参加者のみなさん一人一人から生活の中で感じているが語られていく。実践発表をされた玉川小学校の小林貴徳先生が、「子どもに語りかける言葉に自分の生き方がそのまま伝わっていくような気がする。私の言葉が子どもたちにどう伝わっているのだろうか。私からのメッセージをこれからも伝えていきたい。」と語られた言葉が今も心に残っている。夏期研修会場を出て急いで息子の陸上大会の応援に向かった。競技場で息子が汗を流しながら、緊張した表情で、競技の出番を待っていた。前日まで目標記録の更新を願い、「明日はベスト記録が出るといいな。」と声をかけていた私であったが、そんな気持ちはどこかへ飛んでいってしまっていた。こうして息子が陸上競技場に立ち、自分の目指す所を一点に見つめている、その姿だけで何とも言えない喜びがあった。競技を終えた息子が車の中で、「お父ちゃん、楽しかった。また来年も大会に出たい。」と話す。結果記録も良かったが数値は話題にはならなかった。「またこの場所に立ちたい。」そう語る息子の言葉だけがうれしかった。諏訪哲学会に参加した後はいつもこんな気持ちになれる。本当に大切なことと出逢える場所、オンとオフを切り替える場所、そしてありのままの自分を受け入れてくる仲間が集う場所、私にとってのサード・プレイスがここである。(高島小 大畑先生)

5 成果・反省

- ・法華寺を研修会場として利用させてもらった。とても落ち着いた雰囲気の中、充実した研修会を行うことができた。
- ・さらに大勢の方と哲学会を通して自己を磨き合っていくために、連絡・通知の方法を工夫していきたい。